

教安第432号
令和2年7月7日

各市町村教育委員会学校安全主管課長 様

千葉県教育庁教育振興部学校安全保健課長
(公印省略)

児童・生徒海浜事故防止に関するお願いについて（依頼）

日頃から学校安全の推進について御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

このことについて、令和2年7月3日付け三千航第77号により、千葉海上保安部長から、別添写しのとおり依頼がありました。

つきましては、貴管下の学校に対し、夏季休業中等における海浜事故を撲滅するため、別添リーフレットを教職員、児童生徒に配付するとともに、夏季休業日前の児童生徒の指導や保護者会等の機会を利用するなどして、児童生徒及び保護者に対して海浜事故防止の周知をするようお願いいたします。

担当
千葉県教育庁教育振興部
学校安全保健課 安全室
指導主事 日暮 明
TEL 043-223-4091

教安第432号
令和2年7月7日

各県立学校長 様

教育振興部学校安全保健課長

児童・生徒の海浜事故防止に関するお願いについて（依頼）

日頃から、学校安全の推進について御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

このことについて、令和2年7月3日付け三千航第77号により、千葉海上保安部長から、別添写しのとおり依頼がありました。

つきましては、夏季休業中等における海浜事故を撲滅するため、別添リーフレットを教職員、児童生徒に配付するとともに、夏季休業日前の児童生徒の指導や保護者会等の機会を利用するなどして、児童生徒及び保護者に対して海浜事故防止の周知をお願いします。

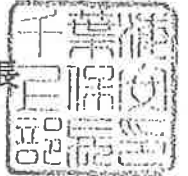
担当
千葉県教育庁教育振興部
学校安全保健課 安全室
指導主事 日暮 明
TEL 043-223-4091



三千航第 77 号
令和 2 年 7 月 3 日

千葉県教育長 殿

千葉県海上保安部長



児童・生徒の海浜事故防止に関するお願いについて

平素は海上保安業務に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、例年、夏季休業中における児童・生徒による海浜事故が後を絶えない状況である中、特に今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、千葉県内だけでなく首都圏近郊の海水浴場が不開設となり、ライフセーバーなどによる監視の目が届かないことによる事故の早期発見、早期救助が困難になる状況が危惧されます。

これら事故を撲滅するため、別添のとおり、教職員及び保護者を対象としたリーフレットを作製いたしました。

つきましては、貴管下の小・中学校や高等学校等において、夏季休業日前の生活指導や保護者会等の機会を利用するなどして、児童・生徒に対して海浜事故防止に関する周知がなされるよう、お取り計らいいただきたくお願い申し上げます。

現下の社会環境での児童・生徒に対する教育指導にあたり、一方ならぬご苦勞をされている折に誠に恐縮ですが、我々海上保安庁としましても将来ある子供達の命を守るために最大限の対応をいたしますので、今後も引き続き連絡調整を行わせていただければ幸甚です。

お問い合わせ先：千葉県海上保安部 航行安全課 043-242-1805

航行安全課長 萩尾 努（又は専門官 村瀬）



遊泳中の事故が多発！！ 海での事故に遭わないために

👍 子供だけで海に行かない！

👍 海辺にいるとき、保護者は子供から目を離さない！

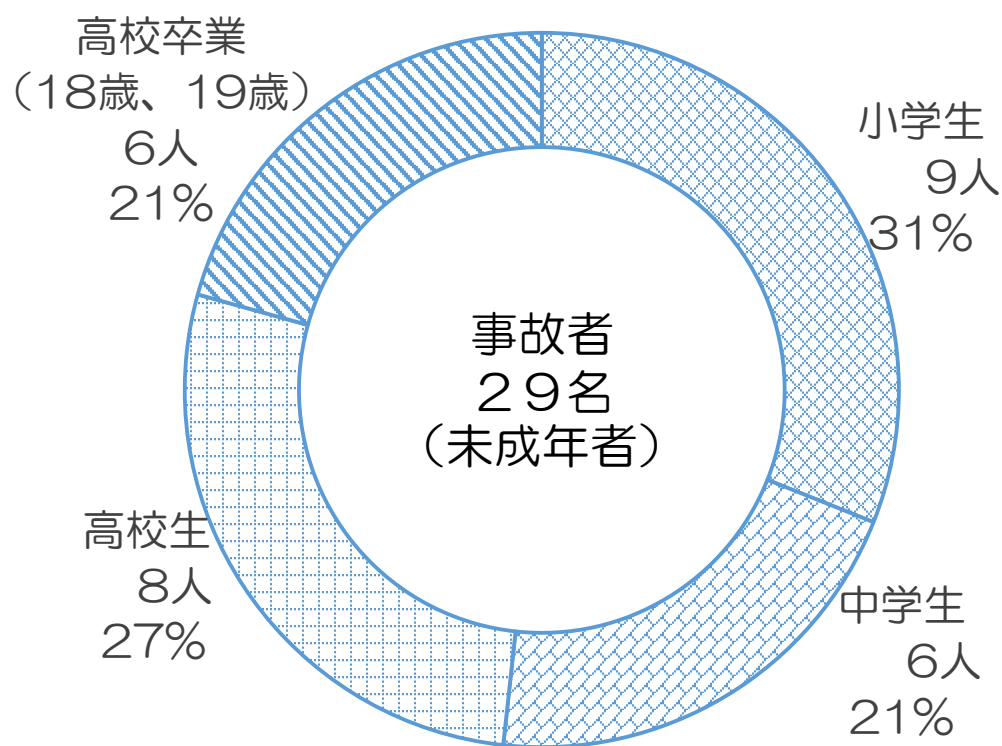
👍 風の強い日や波の高い日、台風が発生しているときは、海辺に近づかない！

👍 友人同士など集団でいるときは特に注意！ふざけて防波堤から飛び込んだり荒れた海に入らない！

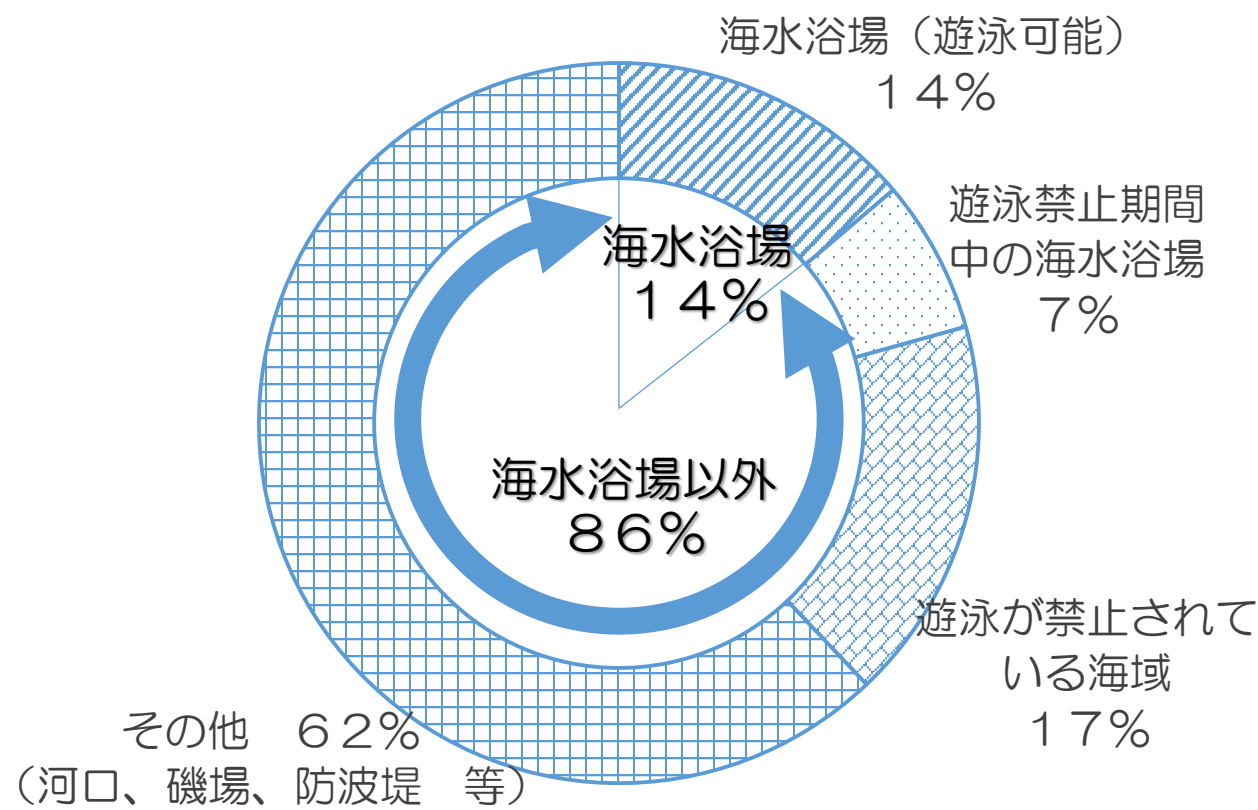
千葉県の実地では、遊泳中の事故が多発しており、過去5年間における未成年の事故者は29人で、そのうち6人の方が死亡・行方不明となっています。

特に今年は、千葉県内だけでなく首都圏近郊の海水浴場も不開設となり、ライフセーバーなどによる監視の目が届かないため、事故の早期発見、早期救助が困難な状況となることが予想されます。

事故者の年代別割合



事故発生時の遊泳場所別割合



○未成年者による海浜事故の分析

場所：86%が海水浴場以外（監視の目がなく救助体制の整っていない場所）で発生。

原因：小学生以下は、保護者が目を離した際に発生することが多く、近年はスワンボートなどの大型浮具に乗ったまま流される事案が多発。

中学生以上は、友人同士など集団の中で波が高いときに海に入ったり泳ぎが得意でないのに防波堤から飛び込んだりなど、無謀な行為によるものが多い。

<事故事例>

1. 事故者（18歳と19歳）は、友人らと遊泳禁止区域の海岸を訪れ遊泳を開始したが、遠方にある台風による高波と離岸流により沖合いに流され波間に揉まれて溺れて行方不明となり、翌日2名とも遺体で発見された。（海上強風警報発令中）

2. 事故者（8歳）は、家族とともに訪れた海岸で、1人でスワン型の大型浮具に乗って遊泳中、風潮流の影響により沖に流され、一緒にいた弟の叫び声で気付いた父親が救助に向かったものの追いつけず、救助機関に救助を要請し、沖合で救助された。

Water Safety Guide

海上保安庁



遊泳に関する安全情報は
こちら